

みずほCustomer Desk Report 2016/09/26 号(As of 2016/09/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.05 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.84	1.1208	113.00	0.9692	1.3083	0.7645
SYD-NY High	101.25	1.1240	113.62	0.9743	1.3088	0.7653
SYD-NY Low	100.68	1.1193	112.90	0.9687	1.2915	0.7609
NY 5:00 PM	101.01	1.1224	113.41	0.9706	1.2968	0.7624
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.575/9.925		△25RR	1.043	Yen Call Over	
NY DOW	18,261.45	▲ 131.01	債券市場	日本2年債	-0.2090	1.4bp
NASDAQ	5,305.75	▲ 33.78		日本10年債	-0.0450	▲1.8bp
S&P	2,164.69	▲ 12.49		米国2年債	0.7540	▲1.6bp
日経平均	16,754.02	▲ 53.60		米国5年債	1.1560	▲0.8bp
TOPIX	1,349.56	▲ 3.11		米国10年債	1.6184	0.0bp
シカゴ日経先物	16,630	▲185.00	為替市況	独10年債	-0.0820	1.4bp
ロンドンFT	6,909.43	▲1.97		英10年債	0.7300	2.3bp
DAX	10,626.97	▲47.21		豪10年債	1.9980	▲3.6bp
ハンセン指数	23,686.48	▲73.32		USD/CNH	6.6794	▲ 0.0030
上海総合	3,033.90	▲ 8.42		ドルインデックス	95.48	0.03
USDJPY 3M Vol	11.76	▲0.08%	商品市況	CRB指数	183.097	▲3.23
USDJPY 6M Vol	11.04	▲0.09%		NY金	1,341.700	▲3.00
EURJPY 3M Vol	11.75	0.02%		WTI	44.480	▲1.84
EURJPY 6M Vol	11.57	0.05%		Dubai Spot	44.67	0.64

東京	休場明けの東京市場のドル円は100.84レベルでオープン。安寄りした日経平均株価が上値を押さえられる展開に、ドル円も東京時間安値100.70をつける。その後、100円台後半で上値重く推移していたものの、公示仲値の発表前後で本邦輸入企業のドル買いが意識されたことや、日経平均株価が下げ幅を縮小させたこと等からドル円は101円台を回復。日中高値101.25をつけた。午後に入ると日経平均株価がじり安となる中、ドル円は再び101.00を割り込み、100円台後半まで下落。結局、100.86レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は横ばい推移。100.86レベルでオープン。ポジション調整とみられる売りが入ったことで一時100.68の日中安値をつける。しかし、その後は材料難の中、方向感に欠ける動きとなり、結局100.83レベルにてNYへ渡った。英ポンドはアジア時間の流れを引き継ぎ下落した。1.3037レベルでオープン。前日にボリス・ジョンソン英国外務大臣が“英国のEU離脱交渉は来年初め頃に開始される”と発言した事を背景に、ポンド売り優勢となった。結局1.2971レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	ドル円は100.83レベルでNYオープン。日銀、FOMC金融政策決定会合の主要イベント通過もあり、様子見ムードが強い中、レンジ内での動きとなった。朝方発表された米8月マークイット製造業PMIは予想を下回るが、市場への影響は限定的。その後は米10年債利回りの上昇を横目に101.13まで上昇。昼ごろには、来年FOMC投票者となるシュカリ・ミネアボリス連銀総裁が“米利上げについては早すぎるより、遅すぎるほうを心配”、今年の投票者であるローゼン格林・ボストン連銀総裁の“利上げ見送りは著しい不均衡生じさせるリスク”との発言もあり、ドル円は101.00付近での底堅い推移から101.17まで上昇し、101.01レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1216レベルでNYオープン。ユーロ圏9月PMIが底堅かったことからユーロ買いが強まり1.1240まで上昇するが、週末を控え上値追いには慎重な展開となり、その後はじり安で推移し1.1224レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
9月23日	16:30	独	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	9月 54.3/50.6/52.7	53.1/52.1/53.6
	17:00	欧	製造業/サービス業/総合PMI・速報値	9月 52.6/52.1/52.6	51.5/52.8/52.8
	21:30	加	小売売上高/除自動車(前月比)	7月 -0.1%/-0.1%	0.1%/0.5%
	21:30	加	CPI(前月比/前年比)	8月 -0.2%/1.1%	0.1%/1.4%
	21:30	加	コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.0%/1.8%	0.2%/2.0%
	22:45	米	マークイット製造業PMI・速報値	9月 51.4	52.0

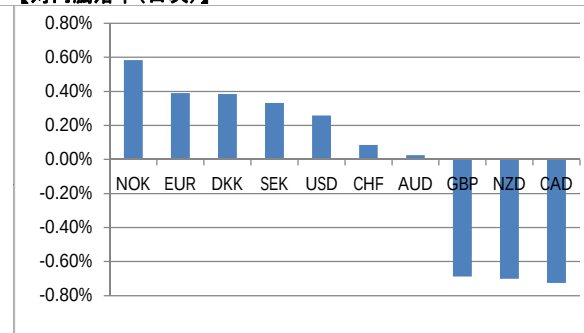
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
9月26日	14:30	日	黒田・日銀総裁 講演	-	-
	17:00	独	IFO企業景況感指数	9月 106.3	106.2
	23:00	米	新築住宅販売件数	8月 600K	654K
	23:00	欧	ドラギ・ECB総裁 講演	-	-
	23:30	米	ダラス連銀製造業活動指数	9月 -3.0	-6.2
9月27日	00:45	米	タルーロ・FRB理事 講演	-	-
	02:30	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-101.50	1.1170-1.1270	113.00-114.00

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円相場は、日銀とFOMCという大きなイベントを越えて、方向感に乏しい動きとなった。本日も方向感に乏しい動きが継続すると予想。本日は米国でクリントン氏、トランプ氏両次期大統領候補による第一回テレビ討論会を控えている。今年の大統領選挙を占ううえで重要なイベントであるが、両候補ともドル高を容認することは無いと思われ、何れの候補が支持率を伸ばそうとも、足許のドル円の上値の重さに変化は無いものと思われる。一方で、本年に入り何度かトライした99円台の底堅さを鑑みると、本日のテレビ討論会がドル円相場のゲームチェンジャーにはならないだろう。本日も方向感に乏しい展開となりそうだ。